

第108号 2019年(平成31年)2月10日発行

第一〇八号

発行 全国通信三田会
発行人 山岡 恒夫
事務所 千300-1282
茨城県牛久市井ノ岡町
2117 山岡恒夫
TEL 029-875-0533
編集人 幸治 典子



全国通信三田会報

2018年度秋期幹事会 奈良雅俊文学部教授ご講演



講演する奈良雅俊文学部教授

全国通信三田会秋期幹事会は10月20日(土)13:00~14:45 慶應義塾大学三田キャンパス西校舎1階513番教室にて開催された。幹事会終了後15:15~17:00 通信教育部長でおられる奈良雅俊文学部教授より記念講演を賜った。

演題は「道徳と幸福」—アリストテレス、福澤諭吉、神谷美恵子から何を学ぶことができるのか。幸福とは。

多数の資料をご用意くださりスライドを駆使して行われた。終始和やかな優しい笑顔を絶やさず、熱意を込め誠実な口調にて流暢に淀みないご講演に、参加者一同みな感動した。ご講演の内容は下記の通り。

現代から紀元前4世紀古代ギリシアへ—アリストテレスの幸福主義に学ぶ
人生の目的は幸福になること。

幸福は人生の全体の観点から考えるべきものである。どれだけ快楽を得たかよりも、人生において何を成し遂げたか。何かを成し遂げるためには、強い意志と努力が必要である。

道徳は幸福にいたるための手段である。アリストテレスは、人間らしい幸福が「徳にもとづく魂の活動」にあると考えた。徳とは、幸福にいたるために必要な性格や人柄のこと。

徳のある人は、理性と感情をバランスよく備えて、状況に適した行為をとることができる。

思慮ある人(優れて善き人)が、正し

い行為の基準であり尺度である。徳ある人になるためには、思慮ある人を見て模倣せよ。

古代ギリシアから明治時代の日本へ—福澤諭吉の智徳論に学ぶ

福澤先生は、人類がめざすべき目標は、物質面だけでなく精神面での進歩、すなわち「智徳の進歩」であると考えた。

しかし、当時の日本とそれをとりまく世界情勢の下では、まず国の独立を達成すべきであると考えた。そのために、独立心と実学の重要性を説いた。

「智徳の進歩」のためには、それまでの儒教主義のように「徳」重視ではなく、智徳をバランスよく備えることが重要であると考えた。智と徳には違いとそれぞれの効用があり、教育法も異なる。

徳の教育は、家庭が主体となり、教える者が実践して手本を示すことが必要である。

人生の目的は、経済的に独立して衣食住を満たすことだけではなく、社会の発達に寄与することである。そのためには、智徳の向上に努める必要がある。

明治から現代へ—神谷美恵子の「生きがい」論に学ぶ(引用)

(1) 人間が最も生きがいを感じる時
人間が最も生きがいを感じるのは、自分がしたいと思うことと義務とが一致したときだと思われる。

どういった人が一番生きがいを感じる人種であろうか。自分の生存目標をはっきりと自覚し、自分の生きている必要を確信し、その目標に向かって全力をそそいで歩いている人、いいかえれば使命感に生きる人ではないであろうか。このような使命感の持主は、世のなかのあちこちに、むしろ人目につかないところに多くひそんでいる。肩書や地位のゆえに大きく浮かびあがる人よりも、そういう無名の人々の存在こそ世のなかの諸々も事業や活動に生きた内容を与え、人を支える力となっていると思われる。

(2) 生きがいをうばい去るもの
生きがいを失った人が、もし新しい生きがいをみだしたいと願うならば、その探求はまず一切をみかぎってしまいたいこの心、このはやる心を抑えることから始まらなければならない。避けられない苦しみや悲しみを安易にごまかしてしまわず、耐えがたい生を何とか持ちこたえるためには、結局その当座はストア的な抑制と忍苦の力が要る。どのように時代が変わっても、ストア哲学のもつ雄々しさ、いさぎよさは、この面ですべて必要とされるであろう。

もちろん忍従だけでは真に生きがい感がうまれるものではない。しかし以上のような忍耐を通してのみ到達される精神の深みというものがある。『生きがいについて』
(3) 新しい生存目標の発見
生きがいを失った人に対して新しい生存目標をもたらしにくるものは、何にせよ、誰にせよ、天来の使者のようなものである。君は決して無用者ではないのだ。君にはどうしても生きていてもらわなければならないことがあるのだ。君でなくてはできないことがあるのだ。ほらここに君の手を、君の存在を、待っているものがある。もしこういう呼び掛けがなんらかの「出会い」を通じて、彼の心にまっすぐ響いてくるならば、彼ははっとめざめて、全身でその声をうけとめるであろう。「自分にもまだ生きている意味があったのだ! 責任と使命とがあったのだ!」という自覚は彼を精神的な死から生へと甦らせるであろう。それはまさに、地獄におちた罪人にむかって投げられた蜘蛛の糸にひとしい。『生きがいについて』

私たちは彼らから何を学ぶことができるか
(1) 自分は人生において何を達成したいのか
(2) 自分に必要な道徳は何か

以上のご講演の熱気に包まれたまま、奈良教授は懇親会もご臨席くださり、全員で「若き血」を斉唱し閉会した。

(星野寿美・記)

「河野純一」さんを偲ぶ
副会長 田沼千鶴子
書道家
河野純一(77才)が、去る九月十日(逝去されました。今年六月、卒論発表会の帰り道、日吉の銀杏並木を足早に「今日はこれで失礼しますから」と、駅に向かって行かれた姿が河野純一さんと最後の会話でした。

河野さんは書道を極め文部大臣賞を受賞する一方、逝去の直前まで神奈川の書道同好会では気持ちよく講師を引き受けてご指導をしてくださっていました。

城田世純君への追悼の言葉
前会長 宮城盛考
合掌
沖繩通信三田会 監事 城田 世純君
30年1月から体調に異変を感じ、入院されましたが、9月27日に腎盂ガンによる永眠されました。享年83歳でした。告別式は10月2日に「首里バプテテスト教会」において執り行われました。

亡き河野純一さんの生涯は、充実されていたということに改めて知ることが出来ました。

合掌
城田世純君への追悼の言葉
前会長 宮城盛考
合掌
沖繩通信三田会 監事 城田 世純君
30年1月から体調に異変を感じ、入院されましたが、9月27日に腎盂ガンによる永眠されました。享年83歳でした。告別式は10月2日に「首里バプテテスト教会」において執り行われました。

合掌
沖繩通信三田会 監事 城田 世純君
30年1月から体調に異変を感じ、入院されましたが、9月27日に腎盂ガンによる永眠されました。享年83歳でした。告別式は10月2日に「首里バプテテスト教会」において執り行われました。

合掌
沖繩通信三田会 監事 城田 世純君
30年1月から体調に異変を感じ、入院されましたが、9月27日に腎盂ガンによる永眠されました。享年83歳でした。告別式は10月2日に「首里バプテテスト教会」において執り行われました。

合掌
沖繩通信三田会 監事 城田 世純君
30年1月から体調に異変を感じ、入院されましたが、9月27日に腎盂ガンによる永眠されました。享年83歳でした。告別式は10月2日に「首里バプテテスト教会」において執り行われました。

2019年春期全国幹事会の概要

秋田通信三田会(進藤伸一会長)のご協力により、開催準備が鋭意進んでいます。
日時: 2019年05月25日(土)~26日(日)13:00開会
場所: 「ホテルメトロポリタン秋田」
住所: 〒010-0001秋田県秋田市中通7丁目2番1号
電話: 018-831-2222 JR秋田駅に隣接交通至便
※予約など参加者の早めの対応が可能な状況になっています。
総会・記念講演会・懇親会
(ホテル内会場名は別途確定)
会費: 懇親会 @6~7千円予定
翌日散策参加者は昼食代・見学料ほか各自負担。

神奈川通信三田会群馬交流会ご案内

神奈川通信三田会は群馬通信三田会創立50周年を祝い、交流会を開催します。
翌日は世界遺産「富岡製糸場」を見学します。
日時: 6月22日(土)16:00~ JR磯部駅より5分
場所: 磯部温泉「磯部ガーデンホテル」集合・宿泊
6月23日(日) ホテルから貸切りバスで移動
「富岡製糸場」他見学・15:00頃 高崎駅解散予定
会費: 約25,000円 (ホテル+観光バス+食事込)
是非、ご参加ください。
参加申込みは下記までお願い申し上げます。
○追 一美 kazsako2201ks@docomo.ne.jp
○星野寿美 090-1034-6354 sincere.0318@docomo.ne.jp

会への連絡は下記へ

下記のようにご連絡くださるようお願いいたします。
◎会へのご意見など
事務所へは郵送のみでお願いします。
緊急の用件の場合
会長へ Tel 029-875-0533
山岡方 (夜間7時~11時まで)
◎住所・姓名変更 退会 逝去者など
田沼方 Fax 03-6874-6718
(住所変更は下記勧業センターへご一報!)
https://wwwdc01.adst.keio.ac.jp/kj/jukuin/mailform.html
◎新入会申し込み、会計関係(文書で)
〒340-0003 埼玉県草加市稲荷2-5-2
大川成一方
◎「全国通信三田会報」原稿送り先
〒376-0101 群馬県みどり市大間々84-18
星野寿美方
Tel & Fax 0277-73-1529
Eメール sincere@vi.sunfield.ne.jp
次号原稿締め切り 2019年5月末日
原稿字数 800文字

本の紹介

英語で書!
和英書道用語・用例集
出頭 茂著
芸術新聞社 本体価格2000円



本書は、全国通信三田会会員の出頭 茂さん(昭54経)による書道界初の和英用語集。ニュージランド出身の書家モニック・モーリーさんとの共著。B6版200頁。実践会話編では、書道展に外国人が来た! 友人の外国人を趣味の書展に招待したい! ホームページに英語で書を紹介したい! そのような際に英語でどう言うか、この「英語で書! 和英書道用語・用例集」がコミュニケーションの手助けとなり安心である。書道用語例編では、筆・墨・硯から書体、作品形式、中国・日本の古典の呼び方など書道に使われる用語約一千語とその用例を和英対照で示してある。英訳によって、漢字の成り立ちや意味を再認識できる。資料編では古典作品名、書ゆかりの人名・地名などの英語表現を示した。ほぼすべての漢字にルビをつけて、五〇音がわかれば外国人も使える。索引は英語版もあり、小学生から外国の美術館の学芸員までが使えるよう配慮してある。出頭さんは全国通訳案内士の資格をもち、90年代から書展の通訳を友人に頼まれ、そのメモを書きためたのが本書執筆の動機となったという。「日本の書心」を広く海外へも伝える手助けとなるだろう。(紹介者 星野寿美)

**平成30年度慶應義塾茨城通信三田会 定期総会記念講演
山岡恒夫茨城県議会議長「三田会での学びから
第110代茨城県議会議長に就任して」要約
茨城通信三田会顧問 高木昂(昭44経)**

昨年2月26日、前任議長が突然亡くなられ、翌27日、平成30年第1回定例会開会初日に議長選挙があり、議員63人中60票を獲得、当選、第110代議長に就任した。これから先のことにはわからないが、運のいい人生と思っている。

私は、1950年4月10日、農家の2番目に生まれ、姉が早世したこともあって農家の後継ぎとして大事に育てられた。「勉強はしないでもよい」と農業高校へ進んだが、3年生になったとき、担任の先生から、「勉強してみろ」と言われ、ラジオの大学受験講座を聞いたりしていた。

2学期に高木先輩が教育実習で「今、慶應義塾大学通信教育をやっている」と話された。卒業して暇ができ、昭和44年法学部に入学、幸運にも48年に卒業させていただいた。

卒業後は、大学紛争中のため日吉が使えず、三田演説館で、佐藤朔塾長、石川忠雄法学部長、加藤寛通信教育部長という豪華な先生方のもとで行われた。これが第1回目。ところが、25年後に招待していただいた卒業式の途中に鳥居泰彦塾長が急に言い出した。「きょうは、25年前の紛争のためここで卒業式をやらなくて卒業した人たちが後ろの高いところに来ています。今から卒業式をやり直す」と、2回目の卒業式をしていただいた。恵まれているなどと思った。

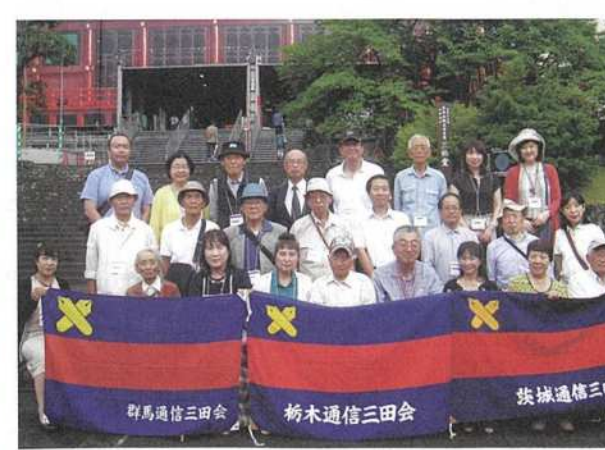
卒業後、三田会で多くのことを学ばせていただいた。自営なので「三田会を手伝え」と言われ、最初に会報づくりをした。当時の松田奎吾会長は、国鉄に勤めて卒業後、40歳近くで弁護士資格を取られた方で、会報づくりを任せられたが、原稿を持っていくと「書き直し」ということが再々あった。大変勉強

**第10回 北関東合同通信三田会報告
―表日光の歴史遺産と奥日光の大自然を訪ねる―**

栃木通信三田会長 根本義夫(昭48経)

平成30年9月8日から9日に行われた北関東三県合同通信三田会の状況を報告します。当日は全国通信三田会の山岡会長、高橋、幸治、大川副会長を迎え、茨城、群馬、栃木の会員総勢29人が参加。県議会議長という要職にある中、駆けつけた山岡会長のあいさつをいただき、一日目は日光東照宮、二日目は中禅寺湖、戦場ヶ原を眺めながら、三滝(湯滝、竜頭滝、華厳滝)を回る。最高齢の参加者は90歳を越える。誰一人脱落することなく完歩。東照宮、輪王寺はプロの「堂者引(どうじゃびき)」に案内依頼。しっかりとした説明にみなさん納得。金色に輝く陽明門、三猿、眠り猫などを観て、いろは坂を貸し切りバスで奥日光へ。豪華絢爛とした世界とは全く異なるステイジへ幕替え。白樺林に囲まれた静かなたたずまいのホテルに到着。

懇親会は高橋副会長の乾杯で開宴。司会の栃木通信三田会の大出さんが口火をきる。料理はゆば懐石。みなさんの一人二分のスピーチ(近況報告)がスムーズに終わる。しばし時間に余裕発生。時間調整で筆者がハーマニカで「若き血」「戦友」を披露。続いて茨城の高野さんが「筑波山のガマの油売り」を英語で披露。これで宴は大いに盛り上がる。その勢いで2次会になだれ込む。二次会の乾杯は茨城の槍崎さん。あらかじめ用意した地酒(慶応出身の造り酒屋の酒「陸の王者」)を飲み



**北陸地区合同通信三田会交流会報告
福井通信三田会会長 志尾章**

平成30年11月11日(日) 福井県坂井市三国町のホテル休暇村越前三国において、10名で北陸地区合同通信三田会交流会を実施した。当日は素晴らしい秋晴れの天気であった。大半の人が時間前に集合、定刻11時30分になり、交流会は食堂で会議を開始した。今回は富山県から1人、石川県から

2人など全体で10名。これまで富山県からの参加者はなかったが7、8年ぶりに参加者があったのが何よりもうれしかった。谷口副会長の司会で懇話会が始まり、志尾会長、石川県徳光会長、来賓の全国通信三田会伏屋副会長からそれぞれ挨拶が行われた。次に自己紹介となり、それ



ぞれ自分の名前と近況、そして最近感じていることなどを報告した。話し合いは午後2時まで賑やかに続き、この後は、休暇村越前三国の屋外に出た。眼前には、越前加賀海岸国定公園の素晴らしい日本海が見える。松林越しに海を見ながら歩く。越前松島水族館が見えて来た。この水族館はイルカショーやペンギンの散歩をはじめ、ガラス張り「海面浮遊体験」ができる水族館である。

ら数分歩くと、民宿が4、5軒立並んだ先に、海に浮かんだような越前松島島が見える。沖合方向には無数の小さな松が生えた島が数多く横たわる。素晴らしい景観だ。ただ最近では遊歩道が危険なため入り口付近で通行止めになっていた。以前はかなり沖合の島まで行くことが出来、ステキな日本海に出会えたのに残念。しばらく景観を楽しんだ後、ここまで来た道を

再び帰って休暇村越前三国に戻った。このホテル近くには天下の奇勝「東尋坊」がある。北陸合同通信三田会の交流会は、この休暇村越前三国前で全員が集まり、閉会のあいさつをして解散することになった。本日の交流会は、楽しい仲間の話や近況も聞き、そして素晴らしい観光散策が出来て、楽しい意義深い一日であった。

**会長紹介
山口通信三田会
由元明實会長**



山口通信三田会の誇る由元会長は、ほっこり・のんびりした人で、周りの者皆をリラックスさせる雰囲気を持つ「おじさま」？彼は辰年の戦前生まれ、その実1月生まれの高卯年の性質を持ち、そのせいかどうか、定例会や総会もとても和やかな雰囲気の中で実施され、とにかく笑いが絶えることなく、その雰囲気か会の継続に役立っていることはいまさら言われない。

ある大手企業を退職後、奥様の故郷である

り、又、ご自身が戦時中4歳から小学校3年生まで疎開していた周防大島でミカンを育てながら、自宅のある光市岩田で公民館を根城に月4回のパソコン教室を主宰し、プログラマーをしている息子さんに触発されて自らも現在サイバー大学の通信講座を受講している真面目人間？でもある。もともと工業高校を卒業した彼は、塾在学中、英語は苦手なラジオ講座で学習してどうにかクリアしたという事だが、素地があるだけに工学系には強いのだろう。塾在学中は八幡に在住、北九州慶友会の会長としておられた。会長就任当時慶友会には4、5人の参加者しかなかったのが、彼が会長となってからはとにかくよく遊ぶことに熱中、30人位参加する会に育て上げたとの事。遊びの偉大さ、面目躍如という事か。27才の時現在の奥様と結婚されることになった。その時点で卒論を残すだけになっていたが延び延びとなり、奥様より「いつ卒業できるの」と尻を叩かれ、「結婚詐欺になっちはやばい！」と一念発起、やっと卒業できたという話を聞いたことがある。卒業式には

当時小学校1年と2年の息子さんと奥様の4人で参加されたという事で、今も奥様の影響力は甚大、今年結婚50年の金婚式を迎えられた本場に熱々の、二人三脚を地で行くお二人で、奥様も三田会の参加には非常に積極的で、最近では通信三田会の楽しい仲間といえる。一方で、3、40人の会員がいるパソコン教室の方は全くのボランティア活動であり、老後のボケ防止として行われているようで、「皆が先生・皆が生徒」の共学精神を実践中。週1回木曜日の朝8時45分から夕方4時まで、何時に帰っても何時に帰っても自由、とにかく一日400円の会費を修めさえすれば、おしゃべりしながら、お菓子を食べながら、お茶を飲みながら、何時間でも居れるという、さながらデイケアの様相を呈している模様。おまけに年2回の食事会と年2回のバス旅行に4、5千円で参加できる特典付き。まさに遊びの楽しさが人生を楽しくするという持論を実践している素晴らしい会長で、このような会長のもと、三田会に集まっている私たちも非常にハッピーと言える。

創立20周年記念誌
長崎通信三田会
創立20周年記念誌



創立20周年おめでとうございませう。54ページからなる記念誌で各地域三田会の多くの方からお祝辞が寄せられています。故・加納時男名誉会長のお祝辞は絶筆となりました。第一、有川一男、第二、川上正徳、第三、宮崎吉隆、第四、堀田敏之君へと会長が引き継がれ、今日に至っています。歩んできた20年の歳月、その時々会長の尽力で活発に会合がもたれていたことが偲ばれます。会員の多くの方々の随想もあり良い記念となったものと思えます。

第12回九州合同通信三田会熊本大会報告

11月10日(土)第12回九州合同通信三田会熊本大会を熊本市内の「ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ」で27名(来賓を含む)が出席して開催しました。

大会は山田洋二熊本通信三田会幹事の司会で熱歌斉唱後開会しました。

開催担当の田口慶治熊本通信三田会会長の歓迎挨拶の後、祝辞では堀田敏之全国通信三田会地域連絡部副部長・出田敬雄熊本三田会会長から激励他のお言葉をいただきました。

協賛では①熊本・福岡・長崎の活動状況が各会長から報告されました。②九州内の動きについて、堀田九州担当から鹿児島・宮崎・大分・沖縄の概要等を報告していただきました。

③会のこれからの活性化については田口会長の司会により、未結成の通信三田会結成に向けた取り組みと活性化に向けた意見交換を行いました。可能な限りのサポートが出来るように、④次回開催については長崎をお願いすることで賛同をいただき、ひとまず閉会としました。

記念講演会では山本理熊本慶友会会長のご支援を

貰い「講師派遣講演会」として、慶應義塾大石裕常任理事(慶應義塾大学法学部教授)にご足労を賜り、「フレイクニユースとジャーナリズム論」のテーマで貴重なご講演を拝聴させていただきました。

傍聴者として通信三田会会員は当然として、他に熊本三田会・熊本慶友会その他から60名ほどの参加をいただきました。

後は部屋を借り写真撮影の後、大石先生を囲んでの懇親会では通信三田会員は当然ながら熊本三田会・熊本慶友会・他県の慶友会の方々の同席もあり、伏屋重晴全国通信三田会副会長・山本哲生熊本三田会副会長から激励の挨拶をいただきました。

古賀敏生福岡通信三田会会長の

発声で乾杯し、しばし歓談しました。

懇親会会場では皆さん各自から自己紹介を兼ねた激励などをいただき、有意義な一時を過ごしました。締めでは肩を組み「若き血」を斉唱して、吉弘義鑑全国通信三田会顧問のご発声で万歳三唱をさせてもらい閉会としました。

(熊本通信三田会会長 田口慶治・記)



第26回東海地区合同通信三田会(三重)報告 愛知通信三田会名誉会長 伏屋重晴



10月6日(土)11時より三重県津市の高田会館(高田本山)にて、22名が参加して、第26回東海地区合同通信三田会(三重)が開催されました。

三田会活動、近況等を語り合いました。

恒例となりました各通信三田会単位(三重・岐阜・静岡)での自己紹介をいたしました。自己紹介の時間は各通信三田会単位での写真撮影タイムとなりました。岐阜三田会クラブの武山武司君が得意なハーモニカを披露しました。

また来賓として全国通信三田会の田沼千鶴子副会長が挨拶をされました。名残は尽きませんが来年の再会を約束して散会しました。なお来年は岐阜三田会クラブが幹事役を務めることが承認されました。

懇親会終了後、希望者のみですが高田本山を見学しました。大変に丁寧に分かり易く説明をして下さいました。なお高田本山は正式には真宗高田派本山専修寺といい、御影堂と如来堂は建造物として三重県で初めて国宝になりました。

40歳の卒業式

昭和60年3月経済学部を卒業した兼瀬哲治さん

さんが、13年間の通信生活をまとめた本、「通教と格闘する法」を平成5年に自費出版した。

卒業までの険しい道や貴重な体験、そして、すぐにでも実行できるたく

さん(兼瀬)の示唆も記載して、現役の通信生に配布したところ「あの本の御蔭で卒業できた」と大好評を頂いた。卒業できた當分の通信生からの言葉に心を動かされ、昨年(平成30年)に改訂版「40歳の卒業式」を自費出版。

勉学の成果を仕事に活かして、熊本県で唯一残っていた清和文庫を活用して全国規模の観光地とした。その成功もあり

(紹介者・田口慶治)

清和村長に推され、当前が合併するまで務めた。現在は、自然エネルギーを活かした「田舎のエネルギー革命(電子書籍)」に取り組んでおられる。

(なお「40歳の卒業式」をご希望の方は兼瀬哲治様 0861-3812 熊本県上益城郡山都町鶴ヶ田2095番地へご連絡を下さい)

夢が叶いました! 奥田浩・記

ついに長年の夢が叶いました。その夢とは、世界一周クルーズです。今年の5月8日から8月21日まで前泊と後泊を合わせて108日間、総全長56,082kmの旅です。我ながらよく旅をしてきたものだと思います。訪問国は23か国、港の数は25か所に及びます。

良く皆様に分かるのですが、「一番良かった国は、どこ?」と、どこの国も良かったのですが、皆様にお勧めしたいのは、エストニアのタリンです。もともとコースに入っていなかったのですが、単独行動で行って来ました。日本に一番近いヨーロッパのフィンランドからフェリーで僅か片道3時間で到着します。小さな町ですが、昔の城壁で囲まれている旧市街は、18世紀の雰囲気そのもの。新しい建物が少ないため、タイムワープしたような感じです。



ヘリからN.Y.を望む

ありませんが、何より魅力なのが北欧圏なのに物価が安い点です。ヘルシンキの人々は皆休みとなると、ここタリンへアルコール類等免税品の買い出しに出かけています。

また、クルーズ船の名前は、オーシャンドリーム号、パナマ船籍で総トン35,265トン、全長205mの客船です。いままでにも国内の客船、飛鳥、飛鳥II、にっぽ丸、ふじ丸等日本の客船は無論のこと、バルト海を航海するシリアラインのような大型船への乗船の経験はありましたが、短期クルーズばかりで、今回のような長期クルーズは初めてでした。

この船の乗客数は約1,200人、うち日本人が約600人、外国人が約600人(中国人が多かったのですが、台湾、タイ、シンガポール、インドネシアなど様々な国の方がいました)。日本人乗客でも、20代、30代の方が、約200人もいて、様々イベントで活躍してくれたので、とても賑やかで楽しかったです。最後になりますが、今回のクルーズを温かく見守ってくれた家族、友人、三田会員の皆様(特に、吉濱様を始めとする有志の方々)に感謝申し上げますと共に、全国通信三田会がますます発展することを祈念致しまして、小生からの報告と致します。



エストニア、タリンの教会

第6回 東南アジア連合三田会マニラ大会 参加報告

神奈川通信三田会副会長・企画部長 迫 一美

神奈川通信三田会は、全国通信三田会会員と共に2018年11月24日(土)、フィリピンのマカティ市(マニラ首都圏)で開催された第6回東南アジア連合三田会マニラ大会に参加した。

1. 東南アジア連合三田会とは

東南アジア各国の各三田会(今回主催のマニラ三田会のほか、ヤンゴン三田会、ジャカルタ三田会、シンガポール三田会、バンコク三田会、サイゴン三田会、ハノイ三田会、クアラルンプール三田会、プノンペン三田会、ピエンチャン三田会)で構成)が参加し、2008年、タイのバンコクで第1回が開催され、その後隔年毎に開催され今回のマニラ大会は、設立10周年で第6回目となる。神奈川通信三田会は全国通信三田会とタイアップし、第1回から連続参加している。

2. 第6回東南アジア連合三田会マニラ大会模様

①日時 2018年11月24日(土)18:30~

②会場 マカティ市のデュシタニ・ホテル

③出席組織 上記各構成三田会のほか、台湾三田会、日本から東京三田会倶楽部、不動産三田会、中野三田会、台東三田会、応援指導部OB会、及び我が神奈川通信三田会(各地域通信三田会)、来賓として慶應義塾大学、連合三田会、三田体育会等幹部

④出席者数 165名(18テーブル)

うち神奈川通信三田会一行は地域通信三田会(群馬、埼玉、岡山、徳島)4名を含む計16名

⑤大会式次第

- ・開会に先立ち塾員による琴の調べのおもてなし
- ・応援部OB指揮により全員で熱歌斉唱
- ・福島マニラ三田会会長開会宣言
- ・来賓挨拶(駒村慶應義塾常任理事、奈歳三田体育会会長、飯田連合三田会会務委員)
- ・鈴木元バンコク三田会副会長御発声により乾杯
- ・(ご歓談)
- ・栗生慶應義塾大学理工学部事務次長による「東南アジア連合三田会の歩み」ご説明
- ・北居法務研究科委員長による「アジアにおける法学教育連携推進資金」ご説明
- ・各国三田会ならびに日本から参加各三田会の報告

なお神奈川通信三田会(地域通信三田会)は吉濱会長が壇上で挨拶のあと、今回参加した全員(16名)の氏名を一人ずつ

紹介し、各人は席で起立し一礼した

- ・特別招待の清水稲門会会長挨拶
- ・応援部OB指揮により全員で肩を組み「若き血」熱唱
- ・福島マニラ三田会会長から、次回開催地ミャンマーのヤンゴン三田会会長へ東南アジア連合三田会旗の引き渡し
- ・閉会

⑥総括

- ・参加者は、楽しく有意義な時間を過ごすことができた
- ・現地の邦字新聞である「まにら新聞」に、大会開催模様が大きな紙面を飾っていた
- ・マニラ三田会事務局、参加された各地域通信三田会、神奈川通信三田会の皆様にお礼を申し上げます。



2018年 全国通信三田会秋期幹事会

日時：2018年10月20日(土) 13:00～14:45(受付:12:30)
場所：慶應義塾大学三田キャンパス 西校舎1階513番教室

冒頭、沖縄通信三田会の城田世純元会長及び神奈川通信三田会河野統一顧問のご冥福を祈り黙祷。

吉浜副会長の司会により開会

・慶應義塾の近況について 塾員センターからの資料により報告
最初に下記の通り、議長ならびに書記を選出

議長：高橋豊副会長 書記：星野広報部長 石川総務部長

次に石川総務部長より下記の出席確認があり、幹事113人。出席46人(40.7%)、欠席(委任状有)19人 合計65名(57.5%)会議成立。

II 議事次第

- 1. 山岡会長が遅れるため後で願います。
・顧問紹介 本間・明石・伏屋・田中・鈴木隆・各顧問

2. 各部報告(各資料参照)

<特記事項>

- 2-1 企画部：出口企画部長
- 2-2 会計：大川副会長 会計監査：本間監査役
- 2-3 広報部：星野広報部長
- 2-4 渉外部：阿部渉外部長 ・部長を後任へ託す意向表明。
- 2-5 塾員情報部：高橋豊副会長
- 2-6 情報システム部
・柴田部長職を後任へ託す意向表明。高橋豊副会長

2-7 総務部：石川総務部長

- ・ユニコン賞の推薦について。ニューズレター 12月号に推薦記事掲載予定。2019年2月9日が締切日。
- ・9月20日に行なわれた役員会で起案された次期役員会メンバー(案)を経緯と共に報告。議決は最後に。

2-8 地域連絡部(各資料参照)

- 北関東：山木 地域連絡部副部長
- 東海：伏屋 顧問兼地域連絡部副部長 会員数の減少および高齢化、役員の成り手不足等の問題を提起。
- 北陸：徳光 石川通信三田会長
- 関西：筒井 兵庫通信三田会長・地域連絡部副部長
名簿については全国通信から受取、大阪、兵庫、和歌山各県が協力して関西をサポートする。
- 中国：小河 地域連絡部副部長
- 四国：大原 徳島通信三田会長
- 九州：堀田 長崎通信三田会長 北海道：特になし

3. 各地域三田会報告(各資料参照)

- ・東京：田中顧問 ・茨城：山木地域連絡部副部長 ・大阪：(野村会長代理) 筒井地域連絡部副部長 ・埼玉：大川会長 ・神奈川：吉浜会長 ・千葉：渡邊会長 ・愛知：岩田会長 ・札幌：吉田会長
- ・宮城：末永会長 ・福島：森会長 ・栃木：根本会長 ・群馬：中島会長 ・石川：徳光会長 ・福井：志尾会長 ・京滋：河合幹事
- ・兵庫：筒井会長 ・岡山：大森会長代理として大西副会長 ・広島：迫田会長 ・山口：由元会長 ・香川：宮北会長 ・徳島：大原会長
- ・高知：加納会長 ・熊本：田口会長 ・長崎：堀田会長

4. その他

- ・遅れて出席の山岡恒夫会長よりご挨拶。
- ・地域連絡部の活動について。地域連絡部は地域合同三田会の支援にあたるもので、上位に立つものではない。地域合同三田会開催は、自主的にお互いのモラルをもって活動してもらいたい。
- ・明日10/21(日)日吉で2018連合三田会大会。「たまり場」は、「神奈川通信三田会」ののぼりを目安にお越し頂きたい。
- ・次回「2019年春期幹事会」開催について。秋田通信三田会(進藤伸一会長)のご協力により開催予定。場所は秋田市内、期日は、2019年5月25日(土)～26日(日)。

(文責 総務部長 石川 浩二)

慶應連合三田会大会をすみからすみまで歩いて

安東 幹(平11法)

今年、私は、慶應連合三田会大会をすみからすみまで歩きました。今後、初めて連合三田会に参加する人、あるいは一人で歩き回りたい人のために参考になればと思ひ文章を書きます。

正門から続く並木道には、慶應グッズや、福澤諭吉先生らの著作などを売るブースが、毎年、あります。私は、今回、慶應義塾大学出版会のブースで『福翁自伝 福澤全集緒言』(慶應義塾大学出版会)を購入し、塾のブースで「KEIO CALENDAR 2019」を購入しました。バッジでもネクタイでも、慶應関連のグッズが何でも買える、それが連合三田会の良いところです。もちろん、毎年、並木道の目立つところに、塾関係のお酒、銘酒「若き血」などを売るブースがあります。

小さい子どもを連れてきても楽しめるコーナーがたくさんあります。JALなどが並木道にブースを出していて、パイロットやフライトアテンダントと一緒に記念写真を撮れ、ゲームもあります。また、託児所もあります。

毎年、塾出身の有名人のライブや講演も開催されます。今年は、加山雄三スペシャルライブ・秋川雅史ライブなどが行われました。また、慶應義塾幼稚舎の生徒が行うイベントには温かい声援を送りましょう。幼稚舎の子どもたちが、毎年、藤原洋記念ホールでプラスバンドを演奏します。日本の未来を応援しよう。慶應義塾と言えば、慶應の多くのイベントに登場して盛り上げる応援指導部と UNICORNSの存在もあります。すばらしい彼女たちの演技も見学できました。大会券の抽選による記念品の景品もすごい!

未来を創り 命を育む「KEIO KITCHEN」

平松 弘行(平4経)

10月21日(日)、毎年秋に日吉の丘で開催される連合三田会大会に参加しました。

今大会のテーマは「未来を創り 命を育む」でイベントコンセプトは「KEIO KITCHEN」でした。これは「食」を通じて日本の新しいカタチを語り合う試みです。

記念式典は「記念館」建て替えのため、塾高体育館「日吉会堂」で行われました。実行委員長 増岡 隆一君の「開催宣言」で幕が開き、塾旗登壇、塾歌斉唱。続いて連合三田会 比企 能樹会長のあいさつ、長谷山彰塾長より祝辞をいただき、全員で「若き血」を歌い終了しました。

大会プログラムをみると日吉キャンパスの隅々まで所せましと様々な模擬店やイベント、講演会が用意されています。来場した塾員は、学生時代に所属していた研究会、サークル、各三田会で旧交をあたため合い、社中みんなで各イベントを楽しみます。

全国通信三田会も連合三田会に所属しており、毎回、集合場所を神奈川通信三田会・企画部の協力で確保しています。そこには全国役員の方々をはじめ、多くの通信卒塾員が集まりました。

今大会のメインイベントは、傘寿を迎えた「若大将」加山雄三さん(昭35政)のスペシャルコンサートでした。塾高時代からバンド活動をされていたとの事で、ステージでは、R&R～おなじみのヒット曲「君といつまでも」、「夜空の星」、「旅人よ」などたくさん演奏していただきました。コンサート中盤では、当時のバンド仲間お二人が飛び入り参加し、カントリーミュージックや演歌を熱唱してくれました。会場内は、あたたかい拍手につつまれ大いに盛り上がっていました。

続いては福引抽選会です。慶應義塾創立160年にあたる今大会での賞品は今までになく大変豪華なものでした。160年記念賞、K賞合わせて36本もあり、当選番号を読み上げるごとに会場のあちこちからため息がもれています。大会券2シートを連番で買えば必ず0賞1本が当たるようになっています。



65年前の甲子園 熱闘再び

泉丘 八日市(滋賀)と来月記念試合



宮城県 気仙沼市本吉町 わが町紹介



私の住む本吉町は宮城県の北東端に位置し、岩手県に入り込み境をなしています。平成21年気仙沼市と合併しました。東京三田の慶應義塾からは約510km離れた地点に所在しています。気仙沼市の人口は東日本大震災の直前には74,303人、現在は64,050人になりだいぶ減少し、本吉町はその内、11,142人から9,828人になりやはり減少しました。漁業の都市気仙沼市と本吉町は古くから交流が盛んで日常生活・経済などあらゆる面でつながりをもっています。沿岸部からは雄大な太平洋を望みリアス式海岸を形成

昨年猛暑の中、熱戦を繰り広げた高校野球。三田会員のお一人で、かつて高校球児だった徳光重希(平15法)さんの熱戦ぶりを紹介する記事が、7月28日付けの北国新聞朝刊に載りました。その記事とともにご紹介いたします。

故郷を立つ時、駅の見送りの人々から「甲子園で優勝を」の声援に送られて出ました。1勝して嬉しかった気がしました。嬉しさがかみ上げました。Q 今でもバットを振られることはあるのですか? A 平成元年頃の銀行時代の草野球で、バットを振ってからありません。高校野球百回大会の節目に当たり、NHKからの取材に際して、ディレクターから甲子園でヒットを打った時のバットがあれば、準備してくださいと言われ

「あります」と断言したのですが、関係場所を探しても見当たりません。何十回かの銀行の転勤引越越しで無くなったのが残念です。Q 子供の頃の野球に関わるエピソードなど聞かせて下さい。 A 中学1年の時、「プロ野球の赤バットの川上、青バットの山下の時代」当時は手製で白球を作り、近所の仲間と小学校のグラウンドで三角ベースボールに興じており、その時ホームランをよやく打ちホームラン王のあだ名を付けられました。

この津谷街を紹介しようと、上札場、下札場の地名があり昔は太政官布令の高札が掲げられ、お達しを受けた宿場としての機能を有していたことが察せられます。尚今回の災害では国内そして海外の国々の方から多大なご支援を頂いたことを本当に有り難く感謝しております。そして復旧・復興の状況を元気で居られたならば、ご案内いたしたく思っています。

- 本吉町への交通手段
- 東北新幹線 くりこま高原駅より車で約1時間
- 最寄駅 JR気仙沼線BRT本吉駅
- 道路 国道45号線および国道346号線三陸沿岸道路は現在建設中で2020年度に本吉町内全線開通予定

末永利一郎(昭46年経卒)



私が所有している高札 太政官布令